

■東京支部活動の報告

①「柑芦会ホームページ」リニューアルのお知らせ(本部事務局より)

柑芦会では、この度ホームページ(HP)をリニューアルいたしました。URLは下記のとおりです。

■ 柑芦会 新HP <https://dousokai.site/kourokai/>

内容的には、全国の各支部の連絡先情報、支部総会などのイベントの開催状況や、同好会・同期会の情報、住所等変更届け、新着情報などを掲載していきます。また、これまでは紙ベースが主体であった年報の「柑芦」誌や「柑芦ニュース」、「本部ニュース」などの広報物も、今後は順次デジタル化してこのHPに掲載するようにしていきます。さらには、フェイスブックの支部ページや同好会のグループもこのHPにリンクを張るなど、HPを柑芦会内のすべての広報物のハブ的な存在に育てていきたいと考えていますので、新規のリンク張りや改良などの要望がある場合はご遠慮なく事務局までご相談ください。

連絡先 藤井、浦。 honbu@kourokai.org

◆和歌山大学 ニュース

① 経済学部・経済学研究科主催の講演会を開催

2022年2月16日から18日までの3日間、経済学部・経済学研究科主催の講演会を開催します。参加には事前申込みが必要ですが大学関係者に限らずどなたでもご参加いただけます。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

【経済学研究科】

2/16(水) 講演会『エネルギーとDX戦略』

<https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2022020100025/>

2/17(木) 講演会『デジタルインテリジェンスと電動化技術』

<https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2022020100032/>

【経済学部】

2/18(金) 講演会『金融情報サービスにおけるDX』

<https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2022020100049/>

【参加費】 無料。オンラインでも参加できます。

②「和歌山大学のデータサイエンス教育(授業紹介)」PR動画を公開

この動画では、和歌山大学のデータサイエンスの授業をご紹介します。

和歌山大学では、文系・理系に関係なく、入学したすべての学生がデータサイエンスの授業を受けることができます。初心者から学ぶことができるように、さまざまなレベルに応じた実践的内容の授業が用意されています。実際に授業を受講した大学生みなさんのインタビューとともに、授業の魅力をお伝えします。

制作: 和歌山大学データ・インテリジェンス教育研究部門

<https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2022020100056/>

③「観光からみた宇宙6」

アストロツーリズムや宇宙教育の研究や実践を行っている和歌山大学国際観光学研究センターの Space & Mobility研究グループは、2016年度より年1回のシンポジウムを開いています。

「アストロツーリズム、これまでとこれから」というテーマでZoomミーティングを使ったオンライン形式で開催いたします。ニュージーランド・テカポで星空ツアーを行うDark Sky Projectを立ち上げられて活動を続けられている小澤英之氏の招待講演がございます。

参加には事前の申し込みが必要です(参加費は無料)。申し込みいただいた方々には、後日、参加のためのZoomミーティングのURLをメールにてお知らせいたします。

日時:2022年2月23日(水・祝)13時00分～15時15分

会場:オンライン(Zoomミーティング)

お申し込みはこちら:<https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2022020900069/>

④「和歌山の観光イメージの創造－吉田初三郎鳥瞰図を通して－」

吉田初三郎(1884-1955)は日本内外の旅行パンフレットに鳥瞰図を取り入れた絵師です。「大正の広重」とも称された初三郎の鳥瞰図には、鉄道線路や各地の名所が鮮やかな色彩で彼独自のデフォルメによって詳細に描かれています。この初三郎鳥瞰図を題材に、和歌山の観光地イメージの創造について、3名の研究者が様々な視点から語り合います。

今回はこの鼎談の様子をオンライン配信いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

詳しくはこちら<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/news/2022020700041/>

⑤「新型コロナウイルス感染症流行時におけるTwitter上の流言訂正情報に関する分析」

東京大学と和歌山大学の研究チームが発表した論文「新型コロナウイルス感染症流行時におけるTwitter上の流言訂正情報に関する分析」がITmediaNEWSで紹介されています。

この論文では、コロナ禍に関連する流言にはどのような内容が含まれるのかを分類しその傾向について分析しています。

記事:<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2202/08/news055.html>

⑥和歌山大学生がデザインしたUHA味覚糖「有田みかんのど飴」

和歌山県でも最も歴史あるみかんどころ、大人気の有田産みかん果汁を使用しました。濃厚な甘みとほどよい酸味のある有田みかんの美味しさをお楽しみいただけます。

【パッケージのこだわり「有田むき」】

パッケージは有田みかんを食べて育った和歌山大学の学生の皆様にデザインいただきました。みかんをダンボールから出して食べる様子をパッケージデザインで再現しております。さらに皮の薄い有田みかんならではの食べ方「有田むき」をパッケージのシズルで表現し、地域ならではの魅力あふれるパッケージとなっております。

▼ 詳細はこちら <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000216.000011343.html>

⑦「持続可能な観光」が、今後の旅行業界のスタンダードに

記事紹介:事業構想 > 2022年3月号 加藤 久美(和歌山大学観光学部観光学科 教授)

世界的にSDGsの取り組みが加速する中、観光産業においても「持続可能な観光」は今や無視できない重要なキーワードだ。アフターコロナに向けて、観光産業は何が変わっていくのか。「地域は旅行者から選ばれるだけでなく、『旅行者を積極的に「選ぶ」』時代になりつつある」と和歌山大学の加藤教授は語る。

▼ 詳細はこちら <https://www.projectdesign.jp/articles/f8518fe6-5b32-4a7f-b201-67a76ec630a7>

創刊、昭和38年、600号以上を発行。会員約20名が毎月投句、選句。上手下手を問わず俳句を楽しんでいます。紙と鉛筆と歳時記で、花鳥風月を楽しんでみてはいかがですか？

発行人：山下勝様 経済学部 14期 yama723@nifty.com

「芦火」連絡先：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-7-2-301 TEL : 096-382-4767

今月の表紙

沈
丁
花



柑
蘆
同
人
誌

令和四年二月一日発行
二月号

第 6 9 6 号

2 0 2 2 . 2

清記を終えて

2

696号

- 純一さんの散歩道の自然 本年第一回は木の寒冬は葉が落ちて実がよく見える季節である。今回も大小色々の実が美しい。散歩途中によく見かける光景でもあるが、カリンは別として結構鳥に食べ残されている。最近の鳥は糞尿になつてしまっているのだろうか。
- 今月は草炎さんが久しぶりの宗匠。「切り捨て御免」の担当をしていたことになった。先月は恵吾さんと、としをさんの担当であったが、としをさんは体調回復が十分でなく今回は辞退された。さらなる回復を期待する。
- コロナは新しい局面に入った。オミクロン株の感染速度はますます早い。あつという間に二万五千人をこえた。ひよつと十万人も超えるのではと懸念される。ただ重症者、死亡者が少ないというのが救いである。しかし数が多ければ入院する人も増えて病院の受け入れの許容を超えることが問題となる。
- 「蔓延防止重点措置」を沖縄などの要請が認められ、さらに各地に広がる気配。
- 「緊急事態宣言」に至れば経済活動は極端に制限される。
- 小池都知事が「感染防止」と「経済活動」の二律背反をいかに実現するかの舵取りをするとの発言である。いかにもうまくやれるか、今までの知見を最大に生かして対応してほしい。
- ただ高齢者は不要不急、用事は少ないので出来るだけ静かに、二密を避けマスク手洗いは従来通りに行い、世間に迷惑を掛けないようにせざるを得ない。
- 冬季オリンピックの中国開催が気をもませる。政治的ポイノットは別として、天津の千万を越える人口に外出制限を掛け、PCR検査をするという。北京の隣で当局の危うい気持ちはコロナを自指して対応しているのだから、市民は黙って従うしかない。日本でも同じ事が行われたらと考えるところとする。
- 17日より国会が開く。是非とも国際社会と共存できる国を目指して議論してほしい。

◎ 本月高得点者

17点 草炎 15点 純一、穂心 13点 恵吾 12点 としを
11点 碧亥、温州 10点 史浩、勝要 9点 わたる

◎ 本月高得点句

6点 終点は我一人なり寒席
5点 寺町の石畳より立冷気
5点 聞き流す客の繰り言おでん酒
5点 狛犬の欠けし鼻先れ早し
5点 懐手解いて打ち込む駒の音
純一
草炎
温州
碧亥
穂心

惜しい！4点句 冬落葉|| 蕪笛 知床の|| 蒸行 落ち葉道|| 草炎 初物の|| みきを

電飾の|| 恵吾 寒海苔の|| 勝 いちにちの|| としを

次号宗匠「切り捨て御免」担当 一 草炎

兼題 沈丁花 暦では2月4日が立春。早春未だうそ寒い頃、または降雪の下、夜気の中でこの花は映き匂う。香気がすこぶる強い。中国原産で筒状の鮮やかな花が咲く。内面が白く外側の紫紅色に見えるのは萼片で、花弁はない。

・ 沈丁や気おくれしつづ案内乞ふ 星野立子 沈丁の匂ふ暗がりばかりかな 石原八束
・ 年毎に待たる庭の沈丁花 林雄次郎 沈丁花うしろの闇の濃かりけり 飯岡良一
・ 咲いたよと夜道に香る沈丁花 迫間喜美子 通り過ぎ振り返り見る沈丁花 綾井美
・ 沈丁花風よびよせて香を放つ 大谷民子 沈丁花夜でなければ逢へぬ人 五所平之助

◆和歌山関連 ニュース

① 和歌山ニット工業組合青年部と雑誌Beginとの共同プロジェクト

ニット製造業は、国内トップシェアを誇る丸編みニット生地産地の産地であるとともに、世界トップレベルの技術を持ち、最高品質の生地を世界に提供しています。和歌山のニットは、特に伸縮性に富み、独特な風合いがあることから、国内外の高級ブランドに数多く使われています。そういった背景の中、和歌山ニット工業組合青年部は、和歌山のニットに関わる方が新型コロナウイルス感染症に負けず笑顔になってほしいとの思いから、昨年より雑誌Beginとの共同プロジェクトである「和歌山大莫小(だいばくしょう)」をスタートさせました。この度、同プロジェクト第2弾として、「グレースウェット」をテーマに和歌山のニット企業11社が各社の卓越した技術を活かし、各社オリジナルのスウェットを開発しました。

▼ 詳細はこちら

https://market.e-begin.jp/pages/wakayama_daibakusho2

② わかやま紀州館「周年祭」を開催！！

「わかやま紀州館」は令和4年2月9日にオープン18周年を迎えます。ご利用いただいている皆様への感謝の意を含め、毎年恒例の「周年祭」が開催されますので、ぜひお立ち寄りください。

【期 間】令和4年2月1日(火)～2月28日(月)

▼ 詳細はこちら

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/shiryo.php?sid=34881>

③世界的建築家の隈研吾氏 講演 企業誘致・転職なき移住フォーラム

移住フォーラム「New Work×Life Style～都市から地方へ、和歌山の魅力～」
和歌山県企業誘致・転職なき移住フォーラム「New Work×Life Style～都市から地方へ、和歌山の魅力～」を開催します。これからの時代に適合する新たなオフィスの在り方(都市への集中から地方への分散へ)を提唱している世界的建築家の隈研吾氏、県内に拠点を置き、南紀白浜空港で「3密可視化システム」を提供するなど、地域課題の解決に資するIoTサービスを開発・提供している株式会社ウフルの代表取締役社長CEO園田崇史氏をお招きし、アフターコロナ時代の新しい企業の在り方、働き方について講演いただきます。
フォーラムの様子はYouTubeでも配信します。

【日 時】令和4年2月28日(月)14:00～15:40

【会 場】イイホール (東京都千代田区内幸町2-1-1飯野ビルディング4F)

▼ 詳細はこちら

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/shiryo.php?sid=34791>

④「わかやまセミナー 移住×農業」を開催！！

地方移住して農業をしたいけどどうしたらいいの？家や農地は見つかるの？
今回は、自ら農地を見つけて就農した先輩移住者の遠藤賢嗣さんに移住・就農の物語を語っていただきます。
セミナー後の個別相談会では、農業、仕事、移住全般の質問に県職員(農業・移住担当課)とキャリアアドバイザーがお答えします。

【日 時】令和4年2月19日(土)17:30～20:30

【会 場】ふるさと回帰支援センター(東京都千代田区有楽町2-10-1東京交通会館8F)

▼ 詳細はこちら

<https://www.wakayamagurashi.jp/event/18491>

文・編 47 期 中川貴照

柑芦会東京支部フェイスブック <https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会

東京支部柑芦会専用電話:03-3366-3680 平日 9:00～18:00

土曜日:9:00～15:00

共用 FAX:03-3369-3469 柑芦会東京支部宛と記載下さい。e-mail: tokyo@kourokai.org